

やまばと通信

2020. 1. 1発行
第235号
多摩市立図書館
042-373-7955



切り絵「子」（職員作成）

※様々な仕掛けがしてあります。じっくりご覧ください！！

今年も図書館をご利用ください。

今年「子年」。子＝鼠（ねずみ）です。鼠は、十二支を決める競争で、堂々の？一位。一番をいく牛に乗って、牛がゴール！寸前に神様の前にぴよんと飛び降り、一位の座を獲得しました。しかも言葉巧みに猫をだまし競争に参加させないという知恵もあります。

図書館は、「ただ本を貸す」だけの場所ではありません。いかに気持ちよく時間を過ごしていただけるか、どんな本をご用意すれば利用していただけるか、お客様の疑問にどんな本でお答えできるか・・・ 干支にちなみ、「小回りが利き、お客様のために知恵を絞る図書館」を今年のコトワザに頑張っていきます。今年も多摩市立図書館をよろしく願いいたします。

企画運営担当

本の紹介

～子年、そして東京2020オリンピック・パラリンピック開催の年を迎えるために～

今年の干支は「子」＝鼠、そして待望の「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催の年でもあります。この2つに関する本を紹介します。

- ・『Mickey Mouse一偉大なるネズミ伝説-』（ラッセル・シュローダー著／青木景子／田畑正儀共訳
スタジオジブリ責任編集／徳間書店／スタジオジブリ・カンパニー／ 請求記号：778.77）
ミッキー自身が「ミッキー・マウス」の歴史を紹介。未発表を含む映画フィルム、イラスト約200点等が掲載された、ファン垂涎の本です。
- ・『おとうとねずみチロのはなし』（森山京作／門田律子絵／講談社／請求記号：91.TF1）
森の中の小さな家に、のねずみの家族が住んでいます。チロは3びきの兄弟のすえっこ。一家のたのしい毎日のお話です。
- ・『オリンピックは平和の祭典』（舛本直文著／大修館書店／請求記号：780.69）
オリンピックはなぜ「平和の祭典」と呼ばれるのでしょうか。
オリンピックが本来目指してきた姿を描いた本です。
- ・『中村裕ー日本のパラリンピックの父ー（オリンピック・パラリンピックにつくした人びと）』（佐野慎輔文／しちみ楼絵／小峰書店／請求記号：78）
1964年東京パラリンピックを成功に導いた日本のパラリンピックの父中村裕。その一生をやさしく紹介します。

ズレママ・ズレパパ おはなし会 ～新しく赤ちゃんを迎えるご家族に向けて～

初めての妊娠、2人目以降を妊娠中の方、おじいちゃん、おばあちゃん、どなたでもご参加いただけます。

内容：妊娠・育児に役立つ本の紹介、赤ちゃん絵本の選び方、赤ちゃんとの手遊びやわらべうたの紹介など

日時：令和2年1月26日（日曜）
午前11時～11時40分

場所：多摩市立図書館本館こどもとしょじつ
（申し込み不要。直接お越しください）



☆☆ 第11回 子ども読書まつり ☆☆ 《ほんともフェスタ》

2月28日から3月31日までの間、第11回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》を開催します。期間中、学校図書館、おはなし会ボランティアなどの活動を紹介する展示、講演会、スペシャルおはなし会などを行い、読書活動の楽しさを子どもたちに向けて発信します。



講演会のお知らせ（予告）



① 村岡 恵理 さん

3月 7日（土曜）午後2時～4時

テーマ『村岡花子の家庭図書館～「道雄文庫」が始まった頃～』

対象：どなたでも

◆講師プロフィール…作家。1967年生まれ。婦人雑誌の記者として活動する一方、翻訳家の祖母・村岡花子の蔵書、資料の管理、研究に従事。代表作に『アンのゆりかご 村岡花子の生涯』（2014年前期NHK連続テレビ小説「花子とアン」の原案）『アンを抱きしめて』『村岡花子と「赤毛のアン」の世界』など多数。

② 石津 ちひろ さん

3月14日（土曜）午後2時～4時

テーマ『ことばで遊ぶ、ことばを愉しむ』

対象：小学生（中・高学年）～高校生、子どもの本や読書に関心のある方等

◆講師プロフィール…1953年生まれ。フランス滞在を経て、絵本作家・詩人・翻訳家として活躍中。絵本に『あしたうちにねこがくるの』（日本絵本賞）、詩集に『あしたのあたしはあたらしいあたし』（三越左千夫少年詩賞）、訳書に「リサとガスパール」シリーズなど多数。第1回やなせたかし文化賞受賞（2019年）。小学校、高校の国語教科書に詩が掲載されている。

☆会場：多摩市立図書館 本館 2階 閲覧室

☆定員：50名（要事前申込み）

※申込み方法等、詳しくは「たま広報」（2月5日号掲載予定）をご覧ください。（図書館ホームページにも掲載します）

～子ども読書支援係～

～令和元年度ビブリオバトル(報告)～



中学生・高校生の部(本戦)のビブリオバトルの様

ビブリオバトルとは、発表者(バトラー)が持ってきた本の魅力を制限時間内で語り、参加者全員が一番読みたいと思った本「チャンプ本」を選ぶという、「本を通して人を知る」コミュニケーションゲームです。

令和元年11月10日(日曜)、永山図書館軽読書コーナー(本戦会場)、消費生活センター講座室(ワークショップ会場)にて、午前10時30分～午後3時40分の間、

昨年に引き続き大妻女子大学の図書館サークルOLIVE(オリーブ)と共催で、ビブリオバトルを行いました。今年度の本戦は、一般の部の他に中学生・高校生の部を新設し、開催しました。

◇中学生・高校生の部(本戦)：バトラー3人 観戦者24人

◇一般の部(本戦)：バトラー6人 観戦者23人

◇ワークショップ：午後2時40分～3時40分 参加者 12人

今回のビブリオバトルでチャンプ本に選ばれた本

- <中学生・高校生の部(本戦)> 『サウンド・オブ・サイレンス』
五十嵐貴久 著/文藝春秋/2014年
- <一般の部(本戦)> 『風の影(上・下)』
カルロス・ルイス・サフォン 著/木村裕美 訳/集英社/2006年

チャンプ本以外の発表された本は、バトラーのコメントと一緒に図書館ホームページ内「図書館からのお知らせ」「イベント」で掲載しています。ぜひご覧ください!

「東京都多摩地域公立図書館大会」開催のお知らせ

「地域に働きかける図書館」をテーマに、地域資料や児童サービスなど、様々な分科会が開かれます。一般の方も参加できます。申し込みは不要です。大会の詳しい内容については、図書館内に掲示してあるポスター、図書館ホームページをご覧ください。

開催期間：令和2年1月28日(火曜)～30日(木曜)